

令和7年度第1回南部町民と議会との懇談会 会議録

令和7年7月9日（水）

午後19時30分開会

場所：改善センター2Fホール

1、出席議員（10名）

1番：芦澤潤一郎 2番：望月憲之 3番：望月小五郎 4番：塩津 悟
5番：高橋茂広 6番：小泉昇一 7番：望月光彦 8番：仲亀佳定
9番：若林良一 10番：木内秀樹

2、欠席議員（なし）

3、議会事務局出席者

議会事務局長 渡辺正樹
議会事務局書記 若林弘平

《町民と議会との懇談会 19時30分～21時30分》

○司会 塩津 悟議員

皆さまこんばんは。お仕事等でお疲れのところ、多くの皆さまにお集まりいただき誠にありがとうございます。本日司会進行をさせていただく塩津です。円滑な議事進行にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。本議会は、昨年度から町民の皆さまとの懇談会を開催しており、今回が3回目になります。本日は2つの議題について説明させていただき、皆さまのご意見を伺いたいと思います。1つは令和7年度南部町予算の概要について、もう1つは子育て支援住宅建設事業についてです。

始めに、望月光彦議員より開会のあいさつを申し上げます。

○開会 望月 光彦議員

改めましてこんばんは。先ほど司会からも申しましたが、本日はお忙しい中、またお疲れのところ、このように大勢の皆さまにお集まりいただき、懇談会が実施できますことを、お礼申し上げます。本日は2つの議題に沿ってお話を進めますが、大きな問題となっております2つ目の議題については、十分に時間をとって、この懇談会が非常に有意義な会であったというふうにしたいと考えております。是非いろんなご意見をいただき、我々もそれをくみ

取ったうえで、町と協議を進めながら、道筋を作っていきたいと考えております。

では只今から、令和7年度第1回懇談会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

○司会 塩津 悟議員

続いて木内議長があいさつを申し上げます。

○議長あいさつ 木内秀樹議長

皆さま、本日はお集まりいただき、誠にありがとうございます。先日の住民説明会においては、子育て支援住宅建設を巡って、様々な意見が寄せられました。特に若い世代の皆さまから、議員は説明会に出席しているのに、何も発言しないのは、反対しているのではないかとのご意見をいただきました。私たち議会として、まずお伝えしたいのは、説明会は町民の皆さまが自由に意見を交わし、町の方向性を考える貴重な場であるということです。そのため、我々はあえてその場での発言は控え、住民の声をしっかり聴くことに専念する姿勢で臨んでいました。しかしその姿勢が、無関心や反対と受け止められてしまったこと、また一部の方々だけの意見に加担するように映ってしまったことは、我々の配慮が足りなかったかもしれせん。誤解を招いたことに対しては、深くお詫び申し上げます。

議会としては、皆さまから寄せられたご意見を真摯に受け止め、公平な立場で、町の将来と住民の暮らしを見据えた議論を重ねてまいります。とりわけ、町の未来を支える若い世代の声は大変重要だと考えております。また現時点で、子育て支援住宅の整備については、大多数の議員が前向きに賛成の立場をとっております。若い世代の皆さまが、安心して暮らせる環境を整えることが、町の将来に繋がると信じているからです。今後もこのような場を通して、意見の違いを超えて住民の皆さまと共に、町の未来を築いていけるよう、対話を重ねてまいります。引き続きご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。

①令和7年度南部町予算の概要について

説明：若林 良一副議長

○司会 塩津 悟議員

説明が終わりました。質問を受け付けます。なお多くの皆さまに発言いただくため、質問は3分程度にまとめてお願いします。

〈質疑応答〉 無

○司会 塩津 悟議員

質問がありませんので、次の議題、子育て支援住宅建設事業に移ります。

○企画課長 挙手発言

住宅の政策に関する議会の説明に入る前に、私の方から一言発言させていただきます。企画課の杉山と申します。26日の説明会には議員の皆さまにもご出席いただき、ありがとうございました。事業について賛否があることは承知しており、我々も様々なご意見を聞かせていただき、意見の集約をはかることを考えております。ただ、今回はコンプライアンスに反する案件が発生しておりますので、企画課からのお願いということで聞いていただければと思います。

26日の説明会では、若い世代の方々からも出席、発言もいただき、共同のまちづくりとして、ほんとに良い話し合いの場だと感じておりました。ただその後、企画課に寄せられた情報によると、一部の若い方の意見に対して、立場のある方が、帰り際に大きな声で叱責したとか、共通の友人を通して連絡を入れ、1時間弱くらい電話で延々と反対意見を諭される等、当人は恐怖さえ感じているようです。このような、ハラスメント行為、コンプライアンス違反に当たる行為が発生しており、これについては、非常に危惧しております。このような、一個人に対して攻撃するような行為は、厳に慎むべきで、今回は特にせつかく出て来てくれた若い女性に対しての攻撃であり、こういった行為は、企画課としては絶対やめていただくようお願い申し上げます。

②子育て支援住宅建設に関する事業について

説明：高橋 茂広議員

〈質疑応答〉

ご意見： 去る7月6日、中央区で臨時総会を開催し、25名の方が参加し、10名の方から発言がありました。その時の出た意見内容等を集約して述べさせていただきます。1つ、なぜ事業を急ぐのか、議会への説明が遅かったのは、議会を軽視しているからではないか。子育て支援事業は再検討し、補助金を活用して実施して欲しい。いずれにせよこの事業は一度白紙に戻すことが妥当。今すべきは、若者に真に必要とされる子育て支援策であり、このまま事業を進めても町民の理解は得られず、失敗に終わるのでは。その2、富中グラウンドに建設することは反対。既に住宅は足りておりこれ以上の建設は不要。空き家や古民家をリフォームして賃貸物件として活用する。お試し住宅が上手く活用されていない。民地を所有者と協議し、事業用地に転用してはどうか。その3、防災面でも富中グラウンドは重要な役割を果たしている。有事の際には、避難場所や仮設住宅建設予定地となる。また、旧富河小中学校の土地は、過去の人たちから学校を建てるために借り上げた土地で、学校以外の用途に転用して良いのか。仮にグラウンドに建てた場合、小学校のプールに隣接しており、防犯上の懸念も多く、宅地にふさわしいとは思えない。特色ある教育政策を打ち出し、多方面へアピールしたらどうか。その4、いろんな受け皿を作る必要があり、保育園や小学校があることは安心につながる。これは賛成意見です。その5、グラウンドの利用者は多く、既に

有効活用されている。小学校近くに住宅が建つことは防犯上よいことには思えない。万沢中の跡地利用は当初、万沢小児童を増やすことを目的とした事業だったはずが、最終的に万沢小は富河小に統合されてしまった。今回も同様で、当初の説明と結果が大きく異なる事業になってしまうのではないかと。どうしても住宅を建設するというのであれば、旧富沢図書館、林業センター等を解体し、跡地に3棟ほど試験的に建設し、需要があるか確認してはどうか。以上が区民の皆さんからいただいた意見です。多くの方から聞けば、いろんな意見が出ると思います。どうか中央区だけでなく、いろんな方から意見を聞いてください。町長は事業費に10億かけてもいいという発言がありましたが、元は住民の税金です。これだけ大きな事業を行うのに1、2回の説明会では到底納得はいかないと思います。議会の皆さま、本日の意見を大事にいただき、いい方向に導いていただきますようお願い申し上げます。以上を持って中央区の意見報告を終わります。

○司会 塩津 悟議員

議会としてもご意見を参考とさせていただき、検討してまいります。ありがとうございました。

問 ； 資料の中に、地元議員3名に先行して企画課より説明とあるが、この内容について教えてください。また先日、私も町の説明会へ参加し、実施しようとする事業については、必要だろうと個人的には受けとめております。しかし、非常に難しい課題を抱えながらの事業であるということも感じています。県と協定を結んだ日からも、非常にタイトなスケジュールであるし、場合によっては無理だとも思えます。一番重視していただきたいのは、議会でもご承知かと思われますが、数々挙げられる問題点、協議事項というものを、町民の賛同を得ながら、進めていくことがベストであると思います。今、高橋議員からも説明がありましたが、それ以上に検討しなければならない課題もあるはずです。これら課題を住民との協議で進めていくのが、今の時代のあり方、行政の進め方であり、議会の示し方であると思います。それで一点、資料にはありませんが、万沢にできた分譲住宅地について、若者の転入は非常に大切だと思いますが、その地域住民にとっては、一緒にコミュニティを築いていくことが、基本的な考え方としてあり、田舎の社会では、様々な役割分担等もあります。しかし半面、そういう煩わしさを好まない若者の考え方もあり、自治会への加入というものも、非常に大きな問題としてあると思われます。そういった面でも、どのような方向で地域住民を巻き込み、協議していくべきなのか、今後議会としてとしてどのような考え方を持って、進めていこうとしているのかお聞きします。

回答：望月小五郎議員

1 番目の質問についてですが、4月25日、地元議員3名ということで、私と望月憲

之議員、芦澤潤一郎議員とで、企画課からの説明を受けました。3月4日に初めて説明を受けてから、既にある程度話が進んでいるような印象を受けたので、我々3人だけへの説明ではなく、全議員の前で、再度詳しく説明をするよう求めました。5月には町長も交えて議会で話を聞き、現在に至っております。

回答：高橋茂広議員

2問目の自治会の加入等についての問題ですが、今の若い方たちは、確かに、自治会に加入することを敬遠しがちです。やはりその地区、地区で、役割分担があり、それを面倒と思う人が多いです。で、私の住む中野区を例にとると、中野区では自治会に加入したら、その後三年くらいは、役は回さず、様子を見てもらいながら、地域に慣れた後、順次役を引き受けてもらう。そのような体制を今考えています。なお、この住宅建設の議題に関しては、皆さんの意見を聞くためにお越いただき、議会としては、町民の皆さんの意見をとりまとめ、町執行部と協議を進めてまいります。非常にいい事業なので、できればまとめていくという考えを持っております。

ご意見： いずれにしても、これまで議会と町民との懇談会が2度しか開催されてないこと。
また、先日、初めて住宅事業についての町民説明会が開催され、大勢の方から質疑が出ていました。今後、町が議会と協議会を開き、場合によっては、第2回目の町民説明会を開催していきたい、という話も最後にお聞きしています。こうした非常に大きな事業ですので、是非落ちがない、実施して町民に本当に良かったと思われる事業で終われるよう、そういう過程の協議を切にお願いします。

問： この建物は3LDK、1棟10戸を2棟建設する、2階建ての子育て支援のための賃貸住宅ということです。すると、入居した人たちが年をとった場合は、ずっとそこで生活ができないのでしょうか。子供達が成長し、住宅から出ていった場合は、子育て支援事業のための住宅なのだから、夫婦はそこから出て行かなければいけないのでしょうか。

答：望月憲之議員

今の質問は子供の成長後、夫婦2人だけが残った後、そのまま住み続けられるのか、という主旨でよろしいでしょうか。この会場に企画課長が来ていますので、答えられる範囲で課長、回答をお願いします。

答：杉山企画課長

あまり詳細な内容については、まだ決定していませんのでお答えできない部分もありますが、今現在ある、グリーンハイツ富士見の入居要件等と、ほぼ同じような要件になるのかなと思われます。内容的には、夫婦双方が40歳に到達した時とか、お子さんが

18歳以上に到達した時とか、その辺で退室をしなければならないという条件があります。その辺も含め、まだ詳細には決まっておりますが、参考までにグリーンハイツ富士見の入居要件をホームページ等でご確認いただければと思います。

問： この度グリーンハイツ富士見に空きがあり、子供が入居を検討する方向で話を進めていますが、現状ということをちょっとお聞きいただきたく、発言させてもらいます。鍵をもらい、係の方と内見をしたところ、床鳴りがかなりひどく、他にも気になった傷みは何カ所かありました。7月中にはメンテナンスをして、入居できるようにしますと言われ、昨日連絡があり、確認に行きました。しかし、床がへこむのが気になり、経年劣化だから仕方ないという返答でしたが、知り合いの大工さんにも聞きましたが、10年ちょっとしか経過していない建物で、床がへこむのはどうか、という返事でした。他にも修繕が必要な個所は見受けられます。新しく建物を建て、子供が増えることにはとても賛成しますが、まずは今ある建物のメンテナンスをしっかりとやっていただきたいです。新しいものが出来れば、やはりそちらに入居したいという人が多いと思います。となると、グリーンハイツのメンテナンスをしっかりとしておかなければ、徐々にグリーンハイツから人が離れていく気がします。そうすると、せっかく万沢地区が、今活気づいているという話ですが、人が離れていく原因になると思います。新しいことに目を向けることもいいのですが、10年経過して、劣化してくるところが増えている、グリーンハイツの点検、修繕等にもしっかりと目を向けて欲しいと思いました。

答：高橋茂広議員

議会としましても、そういうメンテナンスの部分についてですね、やはり10年経過しますと、建物はどうしても傷むところが出てきますので、その件については、しっかりと執行部の方に話をし、対応させていただきたいと考えております。

ご意見： 住宅建設に関してではないですが、先ほど企画課長さんが、とても綺麗に、上手にお願いをされたと思いますが、その着眼点としては、なんかもう身震いをするような案件かな、という感じがしました。そこで私も26日のことを思い返し、あの時、女性で発言した方々を思い浮かべましたが、あの時に、そんなに強烈に、なにか自己主張をされた女性はいなかったと思います。今ちょっとマイクをお借りしたのは、どなたかがお電話し、1時間ぐらいお話をされたということなのですが、あの時挙手をして意見を述べた女性たちは、それぞれに立場あるしっかりした女性たちだったと記憶しています。でも、あの案件で電話がきた時に、それはあくまでも公的な場で対応することだ、という考えがなぜできなかったのか、ということが一つ。それからあの会場に来られた方々は、いろんな意見を持っていて、それぞれの意見ごとに、なんというか仲間意識みたいなものはあったとは思いますが、でも、その仲間の中から相手が不愉快

快になることを探し当てる、そういったことが起こることが、本当に信じられない思いがします。先ほど課長さんからは、丁寧なお願いという感じでしたが、つまり、お電話した方を要注意人物としてはいけないかもしれませんが、個別になにかアプローチをし、アフターフォローされているのではないかと、その2人の1時間っていうものがなぜ起こってしまったのか、それはもう済んだ問題ということにはできないのではないかと感じております。趣旨とはズレた発言かもしれませんが、議員の皆さまには、今後のご対応について検討をお願いいたします。

ご意見： 議員の皆様大変ご苦勞様です。まず、敬意を表します。私はこの事業の説明を初めて聞きました。この事業の背景、その経緯等、事細かく説明がございました。私はよく分析されているなと感心したところであります。結論から申しますと、これは素晴らしい事業であり、速やかに実行すべきだと感じます。まだいろんな考えの人がいるとは思いますが、やはりこれは今の町の現状、それからやはり将来を見据えた時には、速やかに、ほんとにこれはやるべき事業だと、私は考えております。この計画をしている建物、これについては、どこの県にも負けないぞと、南部町には、こういう立派なものがあるぞ、というものを是非、設計して進めていただきたい。今、国では、国立競技場、あるいは大阪万博会場に、木材が大量に使われています。理由はやはり木が持つ性質、人の心を豊かにしたりする、そういうものが、私は木にはあると思います。これから進める計画の中では、この南部町には素晴らしい森林がございました。予算的な面もあるでしょうが、南部の木を使い、素晴らしい計画を進めてもらいたいと考えております。ただ、これから進めるにあたっては、まだまだいろいろな課題が出てくるとは思われますが、議員の皆様、大変ですけれども、ぜひその都度、町民の皆さんにその辺の情報をよく公開をして、進めていただくようお願いしたいと思います。

ご意見： 前回も説明会に来させていただきましたが、今日、私は勇気を持ってお願いに参りました。町会議員の方々は、私たち、住民の代表だと思っています。なので、いろんな意見はあるとは思いますが、やはりこれだけの事業を実施することは、子育て支援策、人口減少を止めるための案だと思います。またチャンスだとも思うのです。ただ問題となっていることが、グラウンドの件で、いろんな方が使っているということで、急にこの話が持ち上がった時に、やはりそれに対する理解というものがなかなか図られていないのではないかと、私は思っています。しかし私はここでお願いをしたいと思います。ぜひ5年後、10年後の若い世代の人たちが喜んでもらえるような、建物が建つために、どうかその土地を譲っていただけませんか。若者の世代のために、それをお願いしに今日参りました。私もバレーをやっていますが、やはり体育館もいろんな場所を使っています。グラウンドは他にもあると思うので、抵抗はあるでしょうが、若者たちのために、是非それをお願いしたいと思います。

問： 先日の説明会にも出席させていただきましたが、本日は議会議員さんとの懇談会ということで、ちょっと質問をさせていただきます。先ず初めに、町への報告の中で、議会全体として、事業自体に賛同する声が多いが、その進め方に疑問がある、とありますが、この事業自体というのは、集合住宅の建設にはもう賛成という解釈でよろしいですか。

答：高橋茂広議員

全員が賛成というわけではないですが、ある程度、その事業自体には賛成ということです。ただ、問題は、先ほどから議論されている、それを建てる場所の問題、富河中学校の跡地に建設するかという、土地の問題です。

問： この事業自体というのは、若い人たちに住んでもらうことがやはり一番で、正直言って人口を増やすとか、町を活性化させるには重要なことだと思います。私も議員をやらせてもらった時には、万沢出身者ですから、最初に万沢中学校のグラウンドの土地に目をつけ、最初は周りの仲間に声かけをし、周りの人たちにいろいろ意見を聞いた上で、議会へ提案し、町長にも話をさせてもらいました。今思えばあそこは、大成功ではなかったかなと思います。私も建築に携わってきており、人がそこに住んで生活するには、アパートも一つの重要な物件なのですが、出来るものなら、そこへ格安で、町がお金を投資して、できるだけ安く土地を提供していただいて、そこに土地を求めてもらい、そこから自分の家庭をスタートさせる。そのような政策が取れたら一番理想ではないかと常々考えています。そういうことを考えた時に、1カ所に集中的に10戸を2棟立てるとか、そういうのも確かに方法だとは思いますが、いきなりそこに行きつくのではなく、いろいろ周辺を見た中で、他の自治体でやった事業等、そういうものを検証したりすることが必要だと思います。20戸となると、資料後半にもリスクがあると、考えられていますが、その考えられるリスクをある程度、1つ1つ潰していきながら、最終的に結論にたどり着くような協議、勉強もしっかりしていただきたいと思います。それからもう一点、県との協定を結んだということで、話は常々報告を受けていますが、資料を見せてもらおうと、協定内容を見るに、なんか町がいろいろなことをやって、事業を進め、それに対して県が情報を求めるというような感じに受け取れるのですが、これは間違いないですか、確認をお願いします。

回答：高橋茂広議員

はい。これは県との協定でして、県の補助等、詳細はまだ決まっていますが、ある程度、県もいろいろな支援はしてくれると思われれます。町で事業実施したデータを県の方に上げて、それを今度は、全県下の市町村、各自治体に波及させていきたいということです。そういうことだと考えています。

ご意見：　ということは、南部町が一番の先駆者として道を開くというか、先頭に行くわけですが、先日町長のお話を聞いたところ、国、県の補助金は今のところ考えていない。自主財源で実施する、ということをやちょっと聞きましたが、概算で10億、まあそんなにはかからないとは思いますが、しかしそれだけ大きいお金を使うことに対して、やはり国や県の補助なしに事業をやることは、かなり冒険的だと思います。後々のため、その後の維持管理費等も考える。人口がどんどん減少してく中で管理していくこと自体が大変な時代にあると思われます。先ほどのグリーンハイツのメンテナンスの件も話題に上がりましたが、建物には、維持管理に費用がかかることも頭の中に入れておいてください。それともう1点は、やはり先ほど少し話題に出ましたが、メゾネットタイプの2階建ということですが、これはどうしてもRC造でなくてもいいと思います。RC造だとやはり工事費がすごく増します。今の住宅はもう木造に帰ってきています。南部町には木材が豊富にあるので、メゾネットタイプであれば、木造で予算もかなり抑えられるのではないかと考えます。慎重にいろいろなことを考えてもらった上で、最善の策を議会として決めていただきたいと思います。

ご意見：　これは本日のお願いになりますが、今後町と議会との協議が進むと思われます。私としては、まだ0スタートだと思っていますが、今後の協議内容については、町民に対して、どのようなスパンで、どのように周知していくのか、議会、町としてもよく検討して欲しいです。この会議に参加してない方の方が多いわけです、それらの方々にもどのように周知していくのか、その方法について是非ご検討ください。説明資料にあった工程表については、主な大まかな内容しか記載されていませんが、町の方から、もう少し詳細な内容が出てくれば、議会の中でも細かな協議が可能になると思われます。先ほどもお話が出ましたが、億単位の事業を実行することになるわけなので、費用対効果というものをしっかり考え、煮詰めながら事業を進めていくべきだと思います。

ご意見：　子育て支援事業も大事だと思いますが、高齢化に関しても考えていかねばならないと思います。子供が自立し、夫婦で年をとり、どちらかが亡くなり、1人になってしまいう家、また、誰もいなくなった家もあります。そういう家を、若い人たちに安く貸すこともできると思います。家を建てたくても土地がないから建てられない、という話も聞きます。そうすると土地を求めて転出してしまう人もいます。さっき伺ったように40歳位になると、その賃貸住宅から出なければならないとなると、家賃をずっと払い続けるよりも、自分たちの土地を探して家を建てるとか、古民家を借りて、住むとかの方が、良い気がします。町には空き家もたくさんあります。建物を建てよう、建てようという考えには疑問があります。もう少し形を変えた子育ての支援策があるのではないのでしょうか。また、南部町も高齢化がどんどん進んでいます。運転免許を持ってないと、生活できない町ですが、高齢者の車の問題もあります。来る将来のた

めに、もう少し交通網だとか、移動手段等について、生活に支障が出ないような方策も考えていただけたらと考えます。

答：塩津 悟議員

地域交通の件については、先日、鳥取県の自治体を訪問し、研修をしてきました。これからも議会としては、この問題を議員同士で協議をしながら、町の方へ提案していきたいと考えております。

ご意見： 富中のグラウンドというのは、町の一番の中心地であって、近辺に大きな災害、地震等が来た時には、おそらく町は静岡県側の方とも、ある程度防災計画上で協定みたいなものを結んでおり、非常事には、津波被害が想定される清水区を、ここの仮設住宅に受け入れる等の計画があったと思います。議会にはそういうことも、ある程度確認をしてもらった上で、グラウンドに集合住宅を建てた場合は、防災計画上、その代替え地としてどこが対応できるのか等も検討した上で、進めていただきたいと思います。

ご意見： 子育て支援の事業事態には賛成ですが、子供が富中のグラウンドを使って、サッカーのクラブ活動をしています。しかしこの事業説明が、あまりにもギリギリすぎて、今年に入ってから、話は少し聞いていたのですが、そこからの展開があまりにも早すぎて困惑しています。アルカディアの総合公園を使ってくださいと言われ、時々そこで、練習することもありましたが、フェンスの鍵が開けずらかったり、トイレもすごく古くて、掃除しても綺麗にならない。招待試合なんかもして、近くには公園もあり、照明もLED化され、いいグラウンドとは思いますが、いきなりそちらに移るように言われても、もう少し準備する時間に猶予があったのではないかと思うところもあり、少し疑問があります。倉庫とか駐車場とかの問題もなかなか詳しい説明がないまま、富中から移動するよう言われ、その期間があまりにも短かったので、ちゃんと同じようにサッカーできるのか、というところが少し不安に感じます。グラウンドの準備等も、実際やってみないと、大変さが分からないとは思いますが、富中グラウンドとは違う大変さがあり、どうなのかな、というのが一つと、その他トイレとかも、もう少し修繕してもらえるのであれば対応していただきたいと思います。あと、住宅から役場が近いと言われますが、子育て世代にとって関係ある部署はほとんど南部の庁舎で、結局そこまで行かねばならないということは事前に周知しておいた方が良いでしょう。県外で受診した医療費の申請、領収書等もわざわざ提出しに行かねばなりません。そういったことを、デジタル技術、スマホ等で可能とするなど工夫をしていただくと、仕事を抱えている人達は助かります。子供たちが増えるのはとてもいいことだと思うので、今いる人たちも、新しく入ってくる人たちも、双方歩み寄り、納得できるような政策にしていいただければと思います。

ご意見： 6月20日に利用団体への説明会が行われ、その時にたくさんの反対意見や質問が出ましたが、26日説明会の資料にも無く、担当課長からは「一部反対意見もありましたが、」という一言の説明だけで済まされてしまいました。その時に出た質問に対しての回答をいただいていない内容もありますので、それについてはきちんと公表していただきたいと思います。また、その場で、富中グラウンドからのへ移転について、移転先施設に対する要望を7月14日締め切りで、各団体に提出を求められていますが、まだ決定していない状況の中で、私たちも要望を出すことはできません。事業が決定しているのであれば、移転に対する要望を出しますが、決定していない段階で出してしまうと、賛成として扱われてしまうと思うからです。現時点では、私たちは富河中学校のグラウンドを使わせていただきたいと思っています。それは防災面でも言えることで、睦合、栄、万沢と、各地区にもそれぞれグラウンドがあります。そんな場所として残していただくためにも、グラウンド以外の場所で建設を考えていただきたく、そういう状況の中で要望は出せないと思っています。子育て世代のお母さんたちに数名に話を聞きましたが、学校の真裏に建物が建ち、学校から、生活が見えてしまうような場所には、住みたいとは思わないとか、どうせ田舎に住むのであれば、庭付の戸建てで、自由が利く、そういった場所を求めている、と言った声も聞きます。なので、いろいろなパターンを検討していただきながら、いい事業にしていきたいと思っています。あと、子育て世代が今求めているものは、夏でも自由に子供が遊べる場所です。今は暑くて夏休みも外で遊べません。町には児童館があると言いますが、自由に使える児童館ではありません。そうすると、乳幼児のお母さんたちも集える場所を求めていると思います。そういった場所を、きちんと整備したり、老朽化した富河保育所を改修する等、子育て世代に向けた他の事業も進めていただきたいと思っています。

ご意見： 小学生の息子が2人います。私のような年代の意見や、思っていることを、議員の皆さんは聞きたいのかなと思い発言します。一番思うのは、以前説明会へも出席しましたが、15年後の2040年には、見込みだと町の人口は4000人になってしまうということです。では15年後、皆さんはどのような町にしたいのか、私はそれを聞きたいし、町の方にもそのビジョンをしっかりと示してもらいたいです。前回の説明会資料だと、そこが明確ではなく、ただ建てるのが目的みたいに感じられました。それではいけないと思いますし、他の人の意見でもありましたが、費用対効果は絶対求めてもらいたいです。15年後を想像した時は、平和に楽しく暮らしていきたいと思っています。将来のことを見据えて考えていけば、住宅を建てる場所も自ずと決まってくるのでは、と思います。個人的に思うのは、富河中学校だけではなく、本当は町のいたる所にこうした住宅がないとダメではないかと思っています。それは、すでに各地

区で崩壊が始まっていると思われるからです。グリーンハイツのある富士見区は人口が増えているとの説明がありましたが、町全体で考えたら、崩壊が始まっている地区の方が多いと思います。だから私はどこに人を集めるか、ということを考えた方がいいと思います。そういうところを見越して議員の皆さんには、頑張ってもらいたいと思います。

ご意見： 最後に一言だけ言わせてください。スポ少に関してですが、私の子供も空手をやっていて、その場所についてはいろいろ検討し、今は柔剣道場を使わせてもらっています。トイレも確かに古くて、和式しかないのですが、最初は戸惑いもありましたが、子供達は柔軟に対応してくれました。また、屋根の水漏れがあった際にも、すぐにアルカディアに連絡し、役場の方で対応していただきました。子供にスポーツをさせている同じ親なのでわかりますが、例えば別の場所だったらこうやってできるかな、とか、そういう工夫を役場の方に要望として出してもらい、それになるべく寄り添ってもらえるよう対応していただくことがいいのかなと思います。建設場所も確かに問題ですが、単純に子供とか、人口を増やすというところに、もう少し注視して考えてほしいと思います。今は極端に逆三角の人口形態で、高齢者の方がいて、小さな子供たちの世代は本当に少なくなっている状況です。この子供たちが将来、15年後、20年後に、皆さんを支える人間になりますが、その支える人間がいなければ、先はありません。今協議されている内容は、高齢者の方々も含め、全ての皆さんに関わってくることになります。まずは人口を増やすとか子育て世代を増やす、という方向に舵を切ってほしいと思っています。そこに対してスポ少とか、スポーツをやられている方々の要望もあると思うので、そこは町とか県とかで寄り添っていただくことが必要かなと思っています。とにかく人口を増やすということが目的だと思うので、そういったところにもう少し焦点を絞り、議論していただきたいと思いました。

問（その他）：

昨年、議会の基本条例を策定していただき、それに則って説明会や、こうした本日の懇談会を開催していただいていると考えています。基本条例の説明会の際にもお話させていただきましたが、議員さん方に、今後の防災対策の一環として、防災士の資格を取っていただきたいという要望をさせていただきました。議会内において、検討するという回答でしたが、その後どのようなお考えかお聞きします。

答：高橋茂広議員

議会としてどのような対応をするかということですが、議員で話し合いをしました。が、やはり個人的な問題になりますので、強制して資格を取得する、ということは考えていません。議員個人の考えに任せる、ということをもって回答とさせていただきます。

ご意見（その他）：

個人の考えを優先する、よく分かります。ただ私の考え方とすると、この基本条例を制定し、開かれた議会を目指した中で、また今後いつ起こるか分からない災害に対して、議員のみなさんも地域住民と一緒にあって、災害対策というものを議論し、その内容は、今後多々出てくるとは思われますが、町民と一体となって災害対策に向き合っていくため、防災士の資格を取り、実践っていうものをしっかり身につけながら対応していくこと。それが基本条例の第1条に等しい内容となってくるのではないかと、私は強く感じています。確かにその資格取得は個人の問題ではありますが、南部町議会として前向きな姿勢で、みんなで向かっていく、そんな風な姿勢をみせていただけるようお願いします。